

令和3年度授業改善推進プラン【国語科】

《各学年の特徴》

- 1年 読み聞かせが好きである。話すことが苦手な児童は少ない。ひらがなはおおむね身についてきている。
- 2年 読み聞かせや読書を好む児童が多く、自分の思いや考えを話したり書いたりして伝えようという意欲がある。
- 3年 読み聞かせや読書を好む児童が多い。自分の思いや考えを話したり書いたりして伝えることができる。
- 4年 読み聞かせや読書を好む児童が多い。自分の考えを友達に話したり、書いてまとめたりして表現することに意欲がある。
- 5年 読み聞かせや音読を好む児童が多い。考えたことや伝えたいことを表現しようと努力している児童が多い。
- 6年 読書を好む児童が多い。漢字や語句など基礎的な知識の獲得に努めている児童が多い。自分の思いや考えを伝え合う中で、考えを深めようとしている。

《課題となる育てたい力》

- 1年 最後まできちんと話を聞いたり、相手にわかるように表現したりする力。
音の表記や助詞に気を付けて、正しく文章を書く力。
- 2年 話の大体を捉えるため、集中して最後まで話を聞く力。
順序に気を付けて、自分の考えや気持ちを言葉や文章で表現する力。
- 3年 叙述の内容を正確に読み取る力。段落やはじめ・中・終わりの構成を考えて文章を正しく書く力。考えの共通点や相違点に気付き、伝える力。
- 4年 自己の考えを表現するための語彙力や要点を捉えてまとめる力。
要点を落とさずに聞く・話す力。
- 5年 事実と感想、意見などとの関係について叙述を押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力。
文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力。
- 6年 既習の漢字や言語を活用する力。
文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力。
読書の幅を広げる力。
話の内容が明確になるように構成を考える力。
思いや考えを豊かに言語化する力。

☆授業改善の具体策☆

《授業全体に関わる事項》

- 話し方や聞き方の指導 ○音読に取り組む時間の確保 ○指導事項の明確化 ○学習事項の言語化
- 読書時間の確保 ○ICT機器を活用した視覚的な情報獲得や意見交流の場の意図的な設定
- 基礎的な知識・技能（学習用語、構造、言葉）の習得 ○他教科に汎化できる国語の指導

《知識・技能》

- 1年 文字を読んだり書いたりする機会を多くつくり、正しいかな遣いや表記ができるようにさせる。互いの話に関心をもち、発言を受けて話をつなぐ機会を多く設定する。
- 2年 漢字、片仮名、類義語・対義語、上位語・下位語、比喻などの使い方の練習を重点的にを行い、言葉に対する意識を高めさせる。
- 3年 語彙を豊かにするために、国語辞典を活用させる。文づくりや日記を通して、習熟を図る。
- 4年 国語辞典の積極的な活用を促し、語彙を増やし、言葉や文章で伝えることのよさに気付かせる。作文を書く際などにも、日常的に活用できるようにさせる。
- 5年 文法、文章構成に着目して文を読ませることで、正しい活用方法を学ばせる。日常的に自分が書いた文章を見直し、既習の漢字や誤字を確認させるようにする。
- 6年 小学校で習った漢字の総復習の時間を設定し、習熟を図る。さまざまな説明資料を用いて、語句について調べ、言葉のもつ働きやよさに気付かせる。

《思考・判断・表現》

- 1年 文型や話型に着目させる。身近で分かりやすい話題で話したり聞いたりする機会を作る。教師や友達の発表から適切な声の大きさや速さに気づかせ、取り入れさせる。
- 2年 質問や意見を取り交わす対話を伴う発表形式の中で、話を聞く意義を捉えさせる。話のまとまりである段落やはじめ・中・終わりを押さえて読み書きを行わせる。
- 3年 文を書いた際に相手や目的を意識した表現になっているかを確認する時間を設定する。文章の一部を引用して考えを述べる活動を行い、他者の意見とも比較させる。
- 4年 中心となる語や文を「読む・書く・話す・聞く」どの分野でも大切なこととして扱う。
- 5年 教材文からその構成や書き表し方、資料活用のよさを考えさせ、自分の書く活動に実際に生かせる場面を設定する。
- 6年 児童が学んだことをベースに文章構成や展開が明確になっているかを話し合う活動、その後、自身の作文を見直す活動を取り入れる。

《主体的に学習に取り組む態度》

- 1年 物語、説明文の読み聞かせを楽しみ、さまざまな本の種類があることに気付かせる。
- 2年 教材と同じジャンルの図鑑を用いて知りたいことを調べさせる活動を行う。読み聞かせによって、物語を楽しみ、自力で読んでみようという態度を育成する。
- 3年 詩や物語を自分で書いてみたり、事典や図鑑から情報をまとめてみたりする。
- 4年 物語の感想文や説明文を書き、読み合う活動などを通して、よりよい文章表現を考えようとする態度を育てる。
- 5年 詩や物語、伝記などの紹介を行い、内容について語り合わせたり、自分の生き方と比較して考えさせたりする機会を設定する。
- 6年 論説文に対する自身の意見や、物語文への感想を話し合ったり文章にまとめたりする活動に重点を置く。教材から派生してさまざまなジャンルの読み物に関心をもたせる。